

■ 5月23日[金]～7月13日[日]

企画展 斜読徒然草 —近世読書のたのしみかた—

鎌倉時代に兼好法師によって著された随筆『徒然草』が最も流行したのは、江戸時代でした。本展では、江戸時代の人々が見出した『徒然草』の魅力を探ります。

■ 7月18日[金]～8月31日[日]

特別展 国宝に見る 薬と食べ物

今も昔も人々の生活に欠かせない「薬」と「食べ物」。県立金沢文庫が管理する国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」から、中世に生きた人々の生活の一端を垣間見ます。

■ 9月5日[金]～11月9日[日]

特別展 金沢八景みほとけ巡礼

神奈川県立金沢文庫が所在する横浜市金沢区は、かつて「武蔵国久良岐郡六浦荘金沢」と呼ばれました。本展では、風光明媚な景勝地として多くの人々が訪れた「金沢八景」の寺院の仏像を紹介します。

■ 11月14日[金]～1月18日[日]

「金沢文庫」創設 750 年記念 特別展 金沢文庫本 — さすら 流離う本の物語 —

日本が世界に誇る古典籍“金沢文庫本”を守り伝えてきた神奈川県立金沢文庫と名古屋市蓬左文庫とが連携し、蔵書を守る営為と歴史的意義を紹介します。

■ 1月23日[金]～3月15日[日]

特別展 金沢文庫文書の歴史（仮）

本展では、「金沢文庫文書」をとおして、博物館（図書館）としての県立金沢文庫の活動をふりかえるとともに、将来の調査、研究、公開、保存のあり方を展望します。

■ 3月20日[金・祝]～5月17日[日]

企画展 至高の宝蔵 —金沢北条氏の遺した国宝—

当館に隣接する称名寺は、「大蔵経」の施入、開山・審海上人の入山、そして本尊・弥勒菩薩立像の開眼により、仏・法・僧の三宝を具える名刹として開かれました。本展示では、魅力あふれる称名寺所蔵の至高の文物をご紹介します。

2025

5

6

7

8

9

10

11

12

2026

1

2

3

4

企画展

斜読徒然草
—近世読書の
たのしみかた—

14
休館
17

特別展

国宝に見る
薬と食べ物

1
休館
4

特別展

金沢八景みほとけ
巡礼

10
休館
13

特別展

金沢文庫本
— さすら
流離う本の物語 —

19
休館
22

特別展

金沢文庫文書
の歴史（仮）

16
休館
19

企画展
至高の宝蔵
—金沢北条
氏の遺した
国宝—



神奈川県立金沢文庫は、鎌倉幕府の重鎮として活躍した金沢北条氏創設の「金沢文庫」に起源をもつ歴史博物館です。

隣接する称名寺に伝来した国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」（約2万点）をはじめとする、中世の歴史や文化を伝える貴重な文化財を保管しています。これらの文化財の調査研究を行い、その成果を展覧会や講座、講演会などで公開しています。



開館時間 9時00分～16時30分（入館は16時まで）
休館日 毎週月曜日（祝祭日にあたるときは開館）、年末年始（12月28日～1月4日）、祝日の翌日（その日が土曜日・日曜日にあたるときは開館）、その他展示替えや館内整備による臨時休館

企画展観覧料（※特別展開催中は観覧料が異なります。）

区分	個人	団体料金
20歳以上	250円	150円
65歳以上	100円	—
20歳未満及び学生	150円	100円
高校生	100円	—

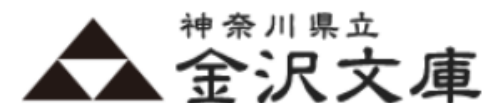
- ・団体は20名以上。
- ・中学生以下及び教育課程に基づく教育活動として入館する高校生は無料。
- ・障害者手帳／療育手帳／精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、手帳又は、スマートフォンアプリ「ミライロID」の手帳画面の提示で観覧料は免除（無料）となります。介助者の方1名も免除（無料）となります。
- ・図書閲覧室のみの利用は無料。

神奈川県立金沢文庫

〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142

電話：045-701-9069 FAX：045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>



Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum